

ホーム名：くみのき苑グループホーム千寿					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・「認知症になっても、一人ひとりが地域の中で当たり前暮らしながら、人間の尊厳を大切に生きていく」を理念に掲げている。入居者様に「自分らしく生きてもらう。自分を好きになってもらう。」事を目標に、職員同士話し合いケアに繋げていく様に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	・自治会に入り、地域行事に積極的に参加させて貰っている。入居者様が参加できる行事の場合は、入居者様と一緒に参加している。また、近隣のスーパーに買い物に行く機会を作る様にしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・河内長野市のキャラバンメイトとして、河内長野市の認知症への理解を広げる活動にも参加している。今年度はいきいきフェスタやRUN伴の参加等入居者様と一緒にいった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議で出た意見は、会議後、各階の常勤と相談したり、法人本部の上司などとも相談し検討させて貰っている。要望で出来ない場合は、個人的に意見下さった方へ、返答の報告を入れている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	・何か事業所で分からない事や困った事は、すぐに市役所に連絡している。市役所の方々も、すぐに調べて返答を下さる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	・立ち上がり等も制止せず危険のない限り自由に行動して頂く。3階フロア入居者一名、左ひざ骨折によりドクターより立ち上がり、歩行禁止の指示あり。一度端座位になられ立ち上がろうとされる行為見られ、家族様了承の元4本柵にて対応中。		
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所などでの虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・全国の事件、事故に関しては、上司より掲示あり。回覧にて職員全員必ず目を通す。身体だけでなく言葉による虐待についても「何かおかしい」と思った時は、常に声掛けを行い注意し防止に努める。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>・権利擁護に関する資料があり職員がいつでも閲覧が出来る様になっており周知を行っている。成年後見制度に関しては、入居者様に利用されている方もおられる為、制度についての理解を行っている。会社も研修を行なっている。</p>			
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・今まであった家族様からの疑問や不安を聞いた事を踏まえて、説明する様に努めている。ただし、細かく説明し過ぎて、逆に家族様に伝える量が多く、理解しにくくさせている事もあるのではと思う。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・各階意見箱を設置している。利用者・家族様からの意見や要望を全員で周知出来る様に、各階の常勤に伝え、どうしていか話し合い取り組む様に努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>・半年に1回人事評価面接実施している。その際に、評価以外に職員の話聴く時間を持っている。また、職員の様子が違う時や周りの職員からの情報を聞いた際は、個人的に、話を持つ様にしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>・人事評価面接時にひとりひとりの評価を行い、賞与に反映させている。職員と話した際に出た意見を基に、業務改善を行うなど職場環境を整えるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・法人本部で定期的に研修を開催しているが、職員数が少ない時などがあり、毎回参加するのは難しい現状がある。その為、月1回勉強会を実施。研修に参加した職員が他職員に研修内容を伝える機会や、外部講師を招き勉強する機会を設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>・グループホーム部会を通じて、他事業所との職員の交換研修や、勉強会を行い、交流や意見交換の場を作っている。</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・入所前に、本人が見学等で来て頂く機会を作っている。入所後も本人の不安を軽減していく様に、ゆっくりと関わる時間を作る。安心した関係作りができる様に、心がけている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・入所前の施設見学や入所時に、本人や家族が困っている事、不安に思っている事を聞き、話し合える時間を作る様に努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・御家族様からの情報や、入居者様の生活状況で気付いた事は、ケース記録や、センター方式に記録し、職員間で情報共有している。面会時、御家族様に情報提供の協力をお願いしている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・入居者様自身が出来る事を見極め、一方的な支援にならない様、心掛けています。しかし、多忙な時等、職員の一時的な支援になっている事も多く有る。本人と同じ立場にたち、支援を行う様に指導している。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・面会時に、職員の方から声をかけ、入居者様の様子を伝える。また、遠方の方や面会期間が空いている家族には、職員から電話を入れ、入居者様の様子を伝えている。職員と家族との話の中で、本人と家族の両方の気持ちを理解し、ケアに活かす様に心がけている。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・本人や家族から情報を集め、馴染みの場所へ出かけたり、友人との面会や手紙のやり取り等、疎遠にならない様に支援している。</p>		
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・入居者様同士の関係は理解できているが、職員が事前に対応できていない事でトラブルの回避ができていない場面も多く有る。職員の動きや対応を事前にできる様に指導し、努めていきたい。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・退所後も、お見舞いや面会を通じ関係性を大切にしている。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・本人の思いや希望は、関わりの中や訴えが有った時に知る様に努めている。しかし、職員の対応も十分ではない為、思いや希望の把握がしきれていない。また、すぐに対応できない事は後回しになり、希望や意向に沿ったケアができていない事も有る為、今後も継続して指導していく。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>・家族等から情報を得て、センター方式に記録しているが、センター方式を確認していない職員もいる。その為、センター方式の記録だけではなく、ユニット会議にて話し合う時間を設け、情報を共有できる様に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>・職員の都合に合わせて、入居者様を誘導している事が多く、入居者の訴えに対しごまかしている事も多い。入居者様に対する職員一人ひとりの対応の見直しを行い、指導していく。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>・本人や家族と話し合い、意見を集め、ケアカンファレンスにて情報を提供し合う。その情報を基に職員同士で意見を出し合い、介護計画を作成する。本人の状態等を見て、必要に応じて随時見直しを行う。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・入居者様の状態等ケースに記録はしているが、職員により得る情報量に差が有る。職員一人ひとりが記録の必要性を理解できておらず、必要事項が全て記録できていない事が多い。記録を確認した上で、必要事項が記録できていない職員は、再度記録の必要性を説明し指導していく。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・法人内外の行事に参加している。可能な限り、本人や家族と相談し、ニーズに沿った支援を行う様に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・地域の行事への参加や、グループホーム部会を通じて、他事業所の入居者様との交流も行っている。施設内では、入居者様同士少しでも楽しく時間を過ごしてもらえる様に、散歩や体操、カラオケ等といった時間を作る様に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・入所前に家族に説明を行い、本人や家族の希望を踏まえ訪問診療を希望される方は、青山クリニックをかかりつけ医としている。以外の方は、希望の病院に、受診や入院ができる様な体制に努めている。近隣で病院の指定がない場合の外部の受診については、職員の付き添い、送迎を行っている。</p>		

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>・看護師が月曜日から土曜日まで常時デイサービスにおり、体調変化の対応やアドバイス、指示を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>・入院中は、家族から情報提供して頂き、また、病院との連携も図り、本人の様子や状態等の把握に努めている。退院後も安心した生活が送れる支援を心がけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・ADLの低下や、体調の変化等はこまめに家族に報告を入れる。その変化に応じ、上司や家族、病院と話し合い対応を検討している。職員一人ひとりが終末期のケアについて十分理解できておらず、指導や職員間での話し合いも必要で有る。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・対応のマニュアルを各階掲示し設置している。また、全体会議やユニット会議にて資料を配布し説明を行っている。重大な事故が発生した際は、その都度ユニット会議にて、事故発生原因や対策を話し合っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年二回消防署の協力の下、消防訓練を実施している。避難方法の再確認、消火器訓練を行っている。</p>		

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>・人格の尊重やプライバシーについて、職員一人ひとり理解しようとしているも、実際の対応では、人格の尊重やプライバシーの確保ができていない事が多く見られ、その都度指導している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>・入居者様自身の自己選択、自己決定に努め、常に納得される様な関わりを意識する事が大切な事は分かっているが、業務を優先し実際に支援できている場面はほとんどない。入居者様と関わる時間を優先し、自己決定に繋がる支援をする様に指導していく。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・職員が主体となって動いている事や、業務を優先している事が多く、入居者様の希望に沿った支援ができていない。再度職員一人ひとりに希望に沿った支援の大切さについて説明し、指導していく。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>・以前と比べ衣類については、入居者様と一緒に選ぶ機会も増えてきたが、髪の毛の乱れや、衣類の汚れに対する意識は低く、気付いていない事も多い。こまめに注意し、確認する習慣をつけていく。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・配食を利用している為、盛り付け等入居者様と少しでも一緒に行う様にしているが、全入居者様と楽しく取り組む事ができていない。また、偏食のある方への食事の提供方法についてはいつもワンパターンになっている。入居者様のできる事を見つけ一緒に食事の準備を行ったり、偏食のある方への対応等、職員の工夫で色々な方法がある為、常に考える様に指導していく。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>・ケースと排泄表に記録はしているが、摂取量が少ない時、どの様に工夫して摂取してもらおうのか考え対応できていない。入居者一人ひとりの好みの食べ物や食べ方を知り、提供できる様に指導していく。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・口腔ケアの実施について、排泄表にチェック欄を設けているが、チェックが抜けている事や、自立されている方の確認ができていない事が多い。チェックと確認の徹底を指導していく。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>・日中、夜間の排泄パターンを観察し個々に合わせた誘導時間や排泄方法の支援に努める。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>・便秘の原因や影響を理解できている職員は少なく、日頃から予防に取り組む事もできていない。メニューを考える際に、便秘予防の食材を取り入れる様に、資料の配布や説明を行い、メニューの見直しを行う。また、便秘時には看護師と相談し、下剤の調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・入浴の日にちが空いている方から声をかけ、入浴の対応を行っている。入浴する時間については、なるべく本人の入りたい時間帯にて対応できる様に努めている。</p>		

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングや廊下、エレベーター前等にソファを設置し、居室だけではなく、入居者がゆっくりできるスペースを作っている。</li> </ul>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局からの薬説明書をファイルにまとめ、個人の薬管理袋に薬についての手書きの紙を入れ、すぐに確認できる様にしている。入居者様の変化について、薬との関係性を考える力が薄く、少しの体調の変化についても看護師に相談し指示を仰ぐ様に指導していく。</li> </ul>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の得意な事、楽しみ、出来る範囲の役割分担などを見つけ、支援しているが、時間が作れない時など、職員の一方的なおしつけになっている。支援の大切さを理解できる様に、指導していく。</li> </ul>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の物に限らず、何か買い物がある時は入居者様にも声をかけ一緒に買い物に出かける様にしている。また、家族が外出を希望される事も多く、その都度上司と相談し支援している。家族様には外出時の注意点を伝え、安心して外出ができる様な支援に努めている。</li> </ul>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの方が自己管理を行っていない。入所時にお金を持ってきておられた方も、お金の事を気にされる事がなくなると、紛失の心配もあり家族様にお金を返却する様にしている。ただ、一緒に買い物に行った時等は施設のお金を財布に入れて会計時に支払いをお願いしたり、日々のお金の計算を入居者様にお願いしたりしている。</li> </ul>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の希望を聞き、電話や手紙のやり取りが可能な方に対しては、本人の希望通りに実施している。</li> </ul>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングや廊下等、季節に沿った飾りを入居者と一緒につったり、花を飾る等季節感を採り入れている。1階玄関横の畑にて、花を植えたり野菜作りを行っている。居心地の良い空間作りについては、まだまだ気付き不足や勉強不足な面もあり、入居者様の意見も取り入れ、改善していく。</li> </ul>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになりたったり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソファやベンチを置く等ゆっくりできるスペースを多く設ける。</li> </ul>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所前の入居者様が使用されていた家具など、居室に持参して頂ける物があれば、居室に置いている。また、入所後も、個人の嗜好から写真を掲示したり、馴染みの物を家族に相談し持って来て貰う。</li> </ul>		
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な環境作りを意識しすぎ、職員が過保護になっている場面が多く、入居者様が出来る事を取り上げてしまっている事が有る。見守りや支援の方法を再度指導していく必要が有る。</li> </ul>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない